

協働のまちづくり活動支援事業 活動報告（中間報告）

実施事業名	あそび場を増やそう		
団体（グループ）名	えべつあそび場 創造プロジェクト	代表者名	金子 大吾
① 地域の課題 【課題を何と考えて事業を行った（行う）のか】	<p>当会あそプロでは以下の3つを目的として活動しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子供たちのあそび場、保護者の休息の場をつくる 2. 住民同士の交流の場をつくる 3. 地域施設と住民のつながりをつくる <p>昨年度は介護付有料老人ホーム蓮音、静苑ホームをあそび場として登録して活動していましたが、市内のほんの一部しかカバーできていないため、まだまだあそび場が足りないと感じています。 そのため、あそび場を増やしていくことが本年度の目標です。</p>		
② いつ 【事業実施日時】	<p>①8月12日15時～19時 毎月第4日曜日13時～15時30分(定期開催)</p> <p>②9月5日10時～14時</p> <p>③9月13日10時～15時</p> <p>④9月19日20日10時～15時</p>		
③ どこで 【場所】	<p>①まごころハウス緑町 あそびの会 in まごころ※</p> <p>②市民交流施設ぷらっと～野幌中央緑地 外あそびの会 ミニ遠足</p> <p>③大麻西公園 外あそびの会 公園あそび</p> <p>④よしたか農園 あそびの会すぺしゃる</p> <p>※あそびの会 in れのん、静苑ホームはコロナの影響で本年度実績なし</p>		
④ 誰のために 【対象者】	<p>あそび場地域を主とした市内在住の子供たちとその保護者を対象としています。 (市外からの参加の制限はしていません)</p>		
⑤ 実施内容・進捗状況 【どんなことをした（する）のか】	<p>あそびの会の定期的な開催はコロナの影響で、本年度登録のまごころハウス(あそび場の玄関および部屋が入居者施設と完全に独立している)のみです。 その代わりに他団体と連携して外あそびの会と称したミニ遠足や公園あそびを行っただけでなく、よしたか農園の収穫祭とのコラボレーションで約200名に楽しんでもらうなど、できることを模索しながら活動を続けています。 また、来年度からはコルクえべつでもあそびの会を開催する方向で話を進めており、あそび場は着実に増やしている状況です。</p>		
⑦ 事業の効果 【どんな効果があった（ある）か】	<p>まごころハウスのあそびの会は本年度から開催したばかりであり知名度が低く、コロナの影響もあって参加者の人数こそ低迷が続いていますが、参加者の満足は得られリピーターも出始めています。 あそびの会では普段と違う遊びを思い切りできることを楽しみにしてくれているようです。 また、コロナ禍によるイベント自粛傾向の中でも子供たちが遊べるイベントを開催してくれるのはありがたいという声もあり、感染対策をして開催継続している甲斐があったと感じています。</p>		
⑧ 事業の展望 【今後どうするのか】	<p>【直近の予定】 本年度はあそび場増加をこれ以上見込むことは難しいと予想されるため、来年度以降も継続してあそび場増加に努めます。</p> <p>【長期的な展望】 あそびの会は負担の小さなイベントのため、興味のある方にノウハウの提供をすることで、市内各所であそびの会が開催されるようにしたいと考えています。</p>		

自由記載欄（事業に関連する写真やチラシ、PRなど）

